

Safe Volu

(Former First Aid)

静岡県赤十字安全奉仕団機関紙 No.56 平成18年12月1日発行

「大道芸ワールドカップ in 静岡2006」が終了！！

～期間中の感動と満足を胸に！来年も多くのステキな仲間との出会いを約束して！～

11月2～5日まで静岡市内を中心に繰り広げられた「大道芸ワールドカップ in 静岡2006」が、多くのパフォーマーとスタッフの協力により、無事幕を閉じました。報道機関の発表で御存知のとおり期間中の来場者は過去最高を記録し、「228万人」に達しました。本団はイベント救護部会を中心に活動を展開し、今年は救急車を要請することが無く四日間を過ごすことができ、参加協力した団員45人（延べ）は、各々の胸に感動と満足をお土産にしたことと思います。また、期間中には多くの赤十字関係者の皆さんに激励をいただきありがとうございました。大道芸実行委員会からは来年度の協力について既に打診がありました。次回の団委員会の中で今年の活動内容を検証・評価し、来年の活動について前向きに話し合っていきたいと思っております。

赤十字は「実践」です、その「実践」が広く県民に評価されることは、「やりがい」を感じ「活力源」となります。そして、それを体験した人には言葉に表しようのない貴重な「宝物」がひとつ増えたこととなります。団員の皆さんに「宝物」がもっともって増えていくように、今後も企画立案をしていきますので、多くの皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。（イベント救護部会）

「支部・裾野赤十字病院災害救護訓練」は会場を変更して開催

11月11日、裾野赤十字病院駐車場を会場として開催予定をしていた「支部・裾野赤十字病院災害救護訓練」は、前日深夜からの悪天候により、会場を裾野市体育館に変更して実施されました。本団からは予定どおりの4人の団員を派遣し、事前計画に従って活動をいたしました。思い起こせば9月1日の総合防災訓練も雨でした、今回も雨により会場を変更したり一部の訓練内容の変更が余儀なくされましたが、悪天候のなかでの災害救護も今後は想定されていくことが必要と感じさせられた訓練でした。訓練参加者の皆さん、お疲れさまでした。（訓練・研修部会）

今年も一年お疲れさまでした

今年も後一ヶ月を残すのみとなりました。多くの活動の中から多くの学びを得て、その学びを次の活動に生かす・・・毎年の繰り返しですが今年も着実に成長してきました。来年も焦らず確実に一歩を踏み出していきたいと思っております。今年一年たいへんお世話になりました、来年も団員の皆さんと共に「社会安全」を目標に活動を進めますのでよろしくお願いいたします。（役員一同）

今月の眼（見た）・耳（聴いた）！「ボランティアのお作法？」②

今回も、「ボランティアの規範」と題して、活動の心構えを紹介していきます。

- ① 仕事がなくともボランティアニーズをむりやり探し出すのではなく、被災地や被災者のことをよく理解するようにしましょう。
- ② ボランティア活動をする場合は、家族や周囲に自分の活動計画について事前に説明し、理解を求めてから出かけましょう。
- ③ 健康の事前チェックに努め、不調になったら早めに活動をやめる勇気を持ち、けがや病気などで被災地の負担にならないようにしましょう。（事務局）

11月7日に発生した北海道佐呂間町の竜巻により被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を心からお祈りいたします。